

通販新聞にて出雲のおもてなしシリーズヒットの兆しとして掲載されました

第1669号

(第3種郵便物認可)

・島根県出雲市、篠原隆
社長)は今秋、洗米やつ
け置きなしで炊ける赤飯
やおこわの販売を強化す
る。店頭と通販のパッケ
ージを統合し、新たに風
呂敷に包まれたようデザ
インに変更した。ギフト
需要への対応強化や店頭
への卸販売をすすめ、新
規顧客層との接点拡大を
目指す。

ヒットの兆し

飯」や「山菜わこわ」、配色が特徴となる。側面「鶏とごぼうねこわ」にも吉祥文様をあしらう（税抜価格は700円）、「柚子香る瀬戸内海産天然真鯛おこわ」（同100円）の4アイテムをつよにした。

常時販売する。独自開発 ターゲットは40代以

だわったという。パッケージの刷新を行ったのは今年5月。これまで通販と店舗の訴求方法が異なることから、違うパッケージで訴求していた。このため、ギフトセレクトショップ全店で取り扱うほか、百貨店のギフトカタログへの導入が進んだという。

刷新後は好調で、食のセレクトショップ全店で

今秋には、数量限定品として「松茸のおこわ」

アルファー食品

赤飯やおこわを拡販

パッケージ刷新でギフト対応強化

け置きなしで炊ける赤飯やねこわの販売を強化する。店頭と通販のパッケージを統合し、新たに風呂敷に包まれたようデザインに変更した。ギフト需要への対応強化や店頭への卸販売をすすめ、規顧客層との接点拡大を目指す。

したお米を使用したものと想定し、70代以上を中心で受け取ったユーザー、「和栗と丹波大納言小豆のお赤飯」を発売し、既存客向けのDMで訴求することで、現在の通販の顧客層から広げる狙い。ギフト需要が高かったことから、贈り先が喜ぶデザインであることや、SN上を図るほか、ギフトユーチューバーのリピート購入の促進につなげる考えで、吉祥文様の鮮やかな重視し包装紙や配色にこだわる。年間保存できる。

トで受け取ったユーザー、「和栗と丹波大納言小豆のお赤飯」を発売し、既存客向けのDMで訴求することで、現在の通販の顧客層から広げる狙い。ギフト需要が高かったことから、贈り先が喜ぶデザインであることや、SN上を図るほか、ギフトユーチューバーのリピート購入の促進につなげる考えで、吉祥文様の鮮やかな重視し包装紙や配色にこだわる。年間保存できる。

吉祥文様の鮮やかな配色が特徴

